

第5学年B組 学級活動(2) 指導案

特別活動研究室

1. 題材名 「のぼそう！自分らしさ」

2. 題材設定の理由

(1) 題材について

① なぜ、「自分らしさ」なのか

「自分らしさを発揮する」ことは、「小学校高学年において、育成することが期待される具体的な能力・態度」（以下、「具体的な能力・態度」とする）に示されているように、「自他の理解能力」を形成する要素の一つである。そして、「自分らしさを発揮する」ためには、「自分の長所や欠点に気付く」ことが前提としてとらえられている。

そこで、題材名を「のぼそう！自分らしさ」と設定し、自分の長所や欠点に気付かせる活動を仕組み、自分らしい生活をしていくために自分が取り組んでいくことを自己決定させることを通して、子供たちに「自他の理解能力」を育ませたいと考えた。

尚、子供たちにこれらの能力を育むためには、自己決定した内容が生活化され、その内容や活動を広げたり深めたりすることができるように継続して指導していく必要があることは言うまでもない。

② 「自分らしさ」とは

- ・ 自分しかもっていないものであり、自分にしかできないこと。または、そのように自分が思えるようなこと。例えば、自分の長所であり、欠点も含んで考える。
- ・ 友達とのつきあいの中や自然とのふれあいの中で育つもの。
- ・ 自分らしさを必要としてくれる人がいること。
- ・ 自分らしさとは作っていくもの。
- ・ 自分らしいことは、楽しいこと。

(2) 児童の実態

本題材の主なねらいは、子供たちに「自他の理解能力」を育むことであり、それは、「自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動することができるようにすること」である。具体的には、

- ① 自分の長所や欠点に気付き、自分らしさを発揮することができるようにすること。
- ② 話し合いなどに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとするようにすること。

である。そこで、児童の実態を正しくつかむために、題材に特にかかわる①のねらいを踏まえ、アンケートを作成し、調査を行った。

調査結果は以下の通りである。

No.	質問と回答例	
1	「自分のいいところ」は、どんなところですか。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達がたくさんいる ・ 友達思いのところ ・ 友達の悩み事を聞くとこ ・ 困っている人がいたら助けられる。声をかけられる。 ・ だれにでも親切にできる。 ・ やさしいところ ・ 楽しいときは、めいいっぱい笑う ・ すぐに気分転換できる ・ 前向きに考えることが出来る ・ 立ち直りが早い ・ 運動が得意 ・ 自主的に挑戦するところ ・ やりたいことをあきらめないところ ・ 粘り強いところ ・ 集中力がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 忘れ物が少ない ・ 教えるのが得意 ・ ゲームのことを教えられる ・ 明るいところ ・ 外で遊ぶのが好き ・ いつでも元気なところ ・ 挨拶ができるところ ・ 男子とでも仲良くできる ・ やることはちゃんとやる ・ 暴力を振るわないところ ・ 面倒見がよい ・ 家事を手伝っている ・ 好奇心旺盛のところ ・ 頭がいい ・ 努力家
2	「自分の変えたいところ」は、どんなところですか。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 面倒くさがりのところ ・ 決めたことが長続きしないところ ・ 言いたいことを言えないところ ・ やる気がないところ ・ 時間を守れないところ ・ 頭で考えるよりも先に口が動くところ ・ 人の気持ちを考えない ・ 人に対して言う言葉がこわいところ ・ 友達をせめる ・ 友達にいやなことを言うてしまう ・ 約束を守らないところ ・ おしゃべりなところ ・ 友達の話をよく聞かないところ ・ 集中力がない ・ 飽きっぽいところ ・ 努力しないところ ・ マイナス発言をするところ ・ 自分に自信をもてないところ ・ すぐに泣くところ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何でも悪く考えること ・ ふざけすぎるところ ・ すぐ怒るところ ・ すぐにむきになるところ ・ 緊張するといいいぶるところ ・ へんなくせ ・ できないことを隠そうとするところ ・ あまり笑顔を見せたことがない ・ 他のことが気になること ・ 自分勝手なところ ・ 言い訳をしてしまうところ。 ・ 生意気なことを言うときがあること ・ 字が雑なところ ・ だまされやすいところ ・ 買ってもらったものを簡単に捨てられない ・ 人見知りのところ ・ えんぴつの正しい持ち方ができない ・ 図工が苦手
3	「自分らしさ」とは、どんなことだと思いますか。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の特徴や個性や性格など自分のいいことや悪いこと ・ 自分の性格で目立つところ ・ 自分が思っていることをそのまま言うこと ・ そのままの自分であること、無理をせずに自分のままでいること ・ 自分が、自分はこうだと思っていること ・ 自分だけの取り柄 ・ 自分にしかできないこと、特技 ・ 自分の得意なことや自分がしそうなところ ・ 自分がいいと思う方に行動していくこと ・ 他の人と違う考え方をすること ・ 他の人と同じではないこと ・ 自分のいいところも変えたいところも自分らしさ ・ 自分自身でやること ・ 自分のもっている輝きや個性的なところ、自分だけの宝物 ・ 手伝いをしたり頼まれ事をしたり、自分から手伝いなどをやっていくこと ・ 自分の性格や心みたいなもの ・ 人としてのよさ ・ 自分の長所 ・ 自分を思い、何かを伝えたり、自分の目的を貫き通すこと 	

以上の結果から、本学級の子供たちは、「自分のいいところ」「自分の変えたいところ」「自分らしさ」について、概ね自分の考えをもっていることが分かった。

しかし、「自分のいいところ」を具体的な生活場面の中で生かしながら生活する姿や「自分の変えたいところ」を積極的に改めていこうとする姿はあまり見られない。

そこで、自分が考えた「自分らしさ」について話し合わせ、それを価値付けしていきながら、「自分のいいところ」をのばしていき、「自分の変えたいところ」を改めていくことがより楽しい学校生活につながることに気付かせ、生活場面での実践への意欲をもたせたい。

(3) 指導にあたって

① 事前

本題材は、「自分らしさ」の価値付けと「自分らしさを生かした生活」に向けた自己決定及びその実践を中心的な活動として考えている。そのために、まず、事前アンケートに取り組みさせる。これは、実態調査としてだけでなく、「自分らしさ」の価値を子供たちに示唆するものである。次に、本時で自分に対する友達の見方を認識させるためのメッセージカードを作らせる。これは、自分のいいところが書かれたものであり、お互いに認め合う雰囲気作りもねらっている。

② 本時

本時は、「自分らしさについて自分の意見をもち、積極的に話し合うことができるようにすること」「自分らしさを生かした生活をするための自分のめあてを考えることができるようにすること」をねらいとしている。そのために、まず、「自分らしさ」について、話し合わせる。その際、事前のアンケートでもった自分の考えを積極的に発言するよう促す。そして、話し合わせる中で、前述の本授業研究で考える「自分らしさ」へ価値付けしていく。次に、メッセージカードを読ませながら、「自分のいいところ」を再認識させ、「自分らしさを生かした生活」のための「自分のめあて」を自己決定させる。最後に、本時の活動を振り返ることで、自分のいいところを大切にしていき、自分の変えたいところを改めていくことがより自分らしく楽しい学校生活につながることを確認しながら、事後の実践への意欲をもたせる。

③ 事後

本時で自己決定した「自分のめあて」を実践していく。必要に応じて、自己決定した内容を修正する場を設け、個別に指導したり、実践に取り組んだ感想をまとめさせ、日常生活の中にめあてが定着化しているかどうかを振り返らせたりする。また、一人一人の児童の実態に応じて、個別指導の継続を図ったり、家庭への協力を呼びかけたりする。

3. 目標

- 自分の長所や欠点に気づき、自分らしさを発揮することができる。
- 話し合いなどに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとすることができる。

4. 指導計画

(1) 事前の活動

児童の活動	教師の支援
○ 事前アンケートに回答する。	○ 児童の実態調査及び「自分らしさ」の価値を示唆するために「自分のいいところ」「自分の変えたいところ」に改めて気付かせたり、「自分らしさ」について自分の考えをもたせたりする。
○ メッセージカードを作る。	○ 認め合う雰囲気作りや自分に対する友達の見方を認識させるために、クラス全員、一人一人のいいところを考えさせ、それをメッセージカードに記入させる。

(2) 本時 平成17年11月18日 5校時 (14:15~15:00) 5年B組教室

① 本時のねらい

- 自分らしさを生かした生活をするための「自分のめあて」を考えることができるようにする。
- 「自分らしさ」について自分の意見を持ち、積極的に話し合うことができるようにする。

② 展開

児童の活動	教師の支援
1. 事前アンケートを読み返し、アンケートに取り組んだ感想を出し合う。(3分)	○ 「自分のいいところ」「自分の変えたいところ」「自分らしさ」について考えた感想を発表させ、学習の雰囲気作りをする。
2. 本時のめあてをつかむ。(2分)	
自分らしさを生かした生活をするためには、どうしたらよいか考えよう。	
3. 「自分らしさ」について話し合う。(10分)	○ 事前のアンケートで「自分らしさ」について考えたことを想起させ、積極的に発表するように促す。 ○ 出された意見の共通点に着目させ、「自分らしさ」についてまとめる。そして、それは、自分のいいところをのばしていき、自分の変えたいところを改めていくことが大切であること、また、「自分らしさを生かした生活」は楽しいことであるということ価値付ける。
4. 友達からのメッセージカードを読み、「自分のいいところ」を見つめ直す。	○ 「自分のいいところ」を再認識させ、自己決定への意欲へとつなげるために、友達

<p>(5分)</p> <p>5. 「自分のめあて」を決め、発表する。 (20分)</p> <p>6. 本時のまとめをする。(5分)</p> <p>(1) 本時の学習を振り返る。</p> <p>(2) 実践への意欲をもつ。</p>	<p>が書いたメッセージカードを読ませる。</p> <p>○ 自分らしさを生かした生活をするために、自分のいいところと自分の変えたいところをどのようにしていくか自己決定させる。</p> <p>○ めあてカードに記入することによって、自分にふさわしい具体的な計画やめあてをもたせる。</p> <p>○ 学習の感想を発表させ、本時の学習を振り返らせる。</p> <p>○ 再度、「自分らしさを生かした生活」は楽しいことであることを確認し、実践への意欲をもたせる。</p>
---	---

(3) 事後の活動

児童の活動	教師の支援
<p>○ 「自分のめあて」として決めたことを実践する。</p> <p>○ 振り返る。</p>	<p>○ 毎日の実践の様子を観察しながら、必要に応じて児童一人一人に助言する。</p> <p>○ 必要に応じて、自己決定した内容を修正する場を設け、個別に指導する。</p> <p>○ 実践に取り組んだ感想をまとめ、日常生活の中にめあてが定着化しているかどうかを振り返る。</p> <p>○ 一人一人の児童の実態に応じて、個別指導の継続を図ったり、家庭への協力を呼びかける。</p>

6. 評価

- 自分らしさを生かした生活をするための「自分のめあて」を考えることができたか。
- 「自分らしさ」について自分の意見を持ち、積極的に話し合うことができたか。

(資料1)「学級活動アンケート」

<p>学級活動アンケート 5年〇組 ()</p> <p>○ 下の質問に答えましょう。 (これはテストではありません。自分が思ったままを教えてください。)</p> <p>1. 「自分のいいところ」は、どんなところですか。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div> <p>2. 「自分の変えたいところ」は、どんなところですか。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div> <p>3. 「自分らしさ」とは、どんなことだと思いますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>-----</p><p>-----</p><p>-----</p></div>

(資料2)「メッセージカード」

<p>メッセージカード 友達のいいところを見つけよう!</p> <p>() ~</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>() より</p>

(資料3)「生活めあてプリント」

生活めあてプリント

5年組 ()

「のぼそう！自分らしさ」

自分らしさを生かした生活をするために、自分のいいところと自分の変えたいところをどのようにしていきますか。

【自己決定】

自分のいいところ

--

「いつ」「どこで」「何を」「どうする」

--

自分のいいところ

--

「いつ」「どこで」「何を」「どうする」

--

自分の変えたいところ

--

「いつ」「どこで」「何を」「どうする」

--

【生活がんばりチェック】 (◎よくできた ○できた △あまりできなかった)

21日(月)	22日(火)	23日(水)	24日(木)	25日(金)
		勤労感謝の日		
28日(月)	29日(火)	30日(水)	1日(木)	2日(金)